

NEWS **絆**

東北生産性本部

**「トランスフォーメーションと成長戦略」****2025年度 仙台シンポジウム 1月例会開催**

仙台シンポジウム1月例会は、マネックスグループ 代表執行役社長 CEO 清明 祐子 氏  
を講師にお迎えし、約60名の参加を得て開催いたしました

**■例会（2026年1月29日開催）****講師： マネックスグループ代表執行役社長 CEO 清明 祐子 氏****（プロフィールなど）**

1977年生まれ大阪府出身。京都大学経済学部卒業。2001年4月株式会社三和銀行（現 株式会社三菱UFJ銀行）入行、2006年12月に株式会社MKSパートナーズに転じ、2009年2月にマネックス・ハンブレクト株式会社（2017年マネックス証券と統合）入社。

2011年6月マネックス・ハンブレクト株式会社代表取締役社長を経て、2013年3月 マネックスグループ執行役員に就任。2019年4月マネックス証券株式会社代表取締役社長（2024年1月より取締役社長執行役員）、2020年1月マネックスグループ代表執行役チーフ・オペレーティング・オフィサー、2021年1月同社代表執行役チーフ・オペレーティング・オフィサー兼CFOに就任。

2022年4月同社取締役兼代表執行役 Co-CEO 兼 CFO を経て、2023年6月より取締役兼代表執行役社長 CEO。

**【ご講演要旨】****「トランスフォーメーションと成長戦略」**

社名の「MONEX」には、MONEY（お金）の「Y」を一步進め、一足先の未来（X）を見据えるという意志が込められています。マネックスグループは、最先端のIT技術と普遍的な価値観を武器に、個人が自己実現を果たし、生涯の資産状況（バランスシート）を最適化できる社会のデザインを目指しています。

本講演では、グループを支える「4つのコアコンピタンス」を軸とした成長の軌跡に加え、2023年のCEO 就任にまつわる秘話を披露。カリスマ創業者からバトンを受け継ぐ際の葛藤や、新体制で着手した改革について、エピソードを交えてお話しいたしました。





また、主要 3 セグメントの事業環境と中長期的な成長ビジョン、さらにはテクノロジーが変革する社会の未来図を提示。自身の経営スタイルやリーダーとしての役割についても触れ、変化の激しい時代におけるトップのあり方を示されました。

**以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。**